院内トリアージ（緊急度判定）実施基準についてのご案内

当院では、夜間・休日等の時間外救急外来において、患者様の安全を守るため「院内トリアージ」を実施しています。

患者様へのお願いと実施方針のご案内

当院では、夜間、休日または深夜（土曜日は正午）に受診された初診の患者様（救急用の自動車等により緊急に搬送された患者様を除く。）に対して、来院後速やかに緊急性及び重症度の判断を行う「院内トリアージ」を実施できる体制を有しています。

救急外来では、看護師または医師があらかじめ患者様の症状等を確認し、診療の優先順位を決定しております。そのため、診察の順番は受付順と異なる場合があり、緊急性・重症度の高い患者さんを優先して診療する場合があります。これにともない、待ち時間が長くなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、当院は厚生労働省の定める施設基準に基づき、「院内トリアージ実施体制加算」を算定しております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

トリアージ判定基準（JTASに基づく5段階分類）

判定レベル	緊急度と状態の目安	診察までの目標時間	待機中の再評価間隔
レベル 1 （蘇生）	直ちに生命に関わる極めて深刻な状態 （心肺停止、重篤な気道閉塞など）	直ちに（0分）	常時監視
レベル 2 （緊急）	生命や重要な身体機能に危機が差し迫っている状態 （激しい胸痛・頭痛、意識障害など）	10分以内	15分ごと
レベル 3 （準緊急）	速やかな対応が必要だが比較的病態は安定している状態 （頭痛、腹痛、日常生活に支障を伴う状態）	30分以内	30分ごと
レベル 4 （低緊急）	急に発症したが病態が安定しており苦痛が比較的軽い状態 （縫合が必要な切り傷など）	60分以内	60分ごと
レベル 5 （非緊急）	緊急性が低く、病態が安定している状態 （慢性症状や軽微な外傷など）	120分以内	120分ごと

トリアージの運用基準と当日の流れ

トリアージの運用基準

・迅速なトリアージの実施
来院後10分～15分以内に医師又は看護師がトリアージを行います。

・5分以内の迅速判定
トリアージに要する時間は、1人の患者様に対し5分以内を目標としています。

・状態変化への柔軟な対応
トリアージから診察までの待機中に症状が悪化した場合は、速やかに再トリアージを行います。

・経時的な再評価
待合室での診察待ちの間、経時的にトリアージの状態を再評価（再トリアージ）します。

救急外来での受診の流れ

1） 時間外受付の実施
患者様が来院され、受付窓口にて時間外受付を行います。

2） 看護師への迅速な連絡
受付事務職員が、救急外来看護師へ患者様が来院した旨をすぐに連絡します。

3） 医師・看護師による問診
看護師又は医師が、お体の症状について問診を行います。

4） 診察順の調整とご説明
トリアージ判定レベルに準じて診察順を調整し、双方の患者様へ説明を行います。

5） 時間経過に伴う再評価
診察待ちの間に再評価時間（JTAS基準）を経過した場合は、トリアージの再評価を行います。

※診察をお待ちの間に容態が悪化した場合は、すぐに受付または看護師にお申し出ください。

2026年4月1日改訂　戸塚共立第2病院